



## Situational Application

### ～ エンドユーザー主体のアプリケーション開発手法

2007年12月7日  
日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所  
野口 雅人

© 2007 IBM Corporation

Situational Application



## はじめに ～ マッシュアップ コンテスト

### ▪ IBM Scholars Challenge Program 2007

- <http://www.ibm.com/jp/software/academic>

#### - 受賞作品

- ニュース百科辞典連携
- 観光地検索
- 大学検索
- デートプラン作成



- Situational Application (SA) の概念と背景
- SA プラットフォーム
- SA の課題と可能性

## Situational Application (SA) とは ?

- 少人数 / 特定用途向け
- 利用者 (あるいは利用者グループ) が作成
- 開発期間が短い、簡単に作成
- 寿命が短い、頻繁に変更
- 信頼性、スケーラビリティ、メンテナンスなどはあまり考慮されない

## SA の歴史

- 2004 年、Clay Shirky が “Situating Software” という用語を使用
  - [http://www.shirky.com/writings/situating\\_software.html](http://www.shirky.com/writings/situating_software.html)
- SA は新しい概念ではない
  - シェル、Perl スクリプト
  - Microsoft® Excel®, Access™
  - Lotus Notes

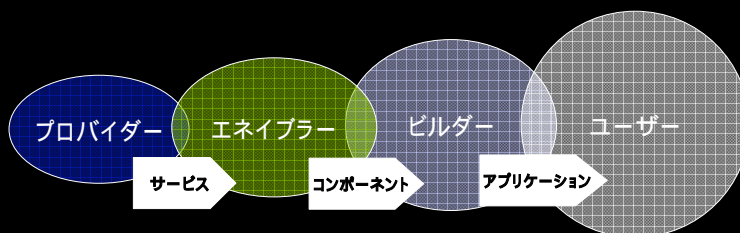
## SA が注目される背景

- 既存の IT 手法では求められる機能を迅速、タイムリーに提供できない
  - システム構築、変更にかかる期間が長い、コストが高い
  - ユーザー ニーズ、要求が多様化
  - ビジネス環境の変化が早い
- 一般ユーザーの IT リテラシーが高まった
  - パソコン、オフィス ツール
  - インターネット、ホームページ
- Web 2.0 の要素技術、手法により、価値が高まった
  - AJAX、REST
  - マッシュアップ

## Web 2.0 と SA

- ロングテール
  - SA はまさにアプリケーションのロングテール
- マッシュアップ
  - マッシュアップが SA の価値を飛躍的に高める
  - AJAX、REST (XML、JSON) は SA のコア技術
- コミュニティ、参加型
  - コミュニティによる SA 構築の促進と共有
  - SA はまさにユーザー参加型アプリケーション開発

## Web 2.0 技術を利用した SA の開発ロール



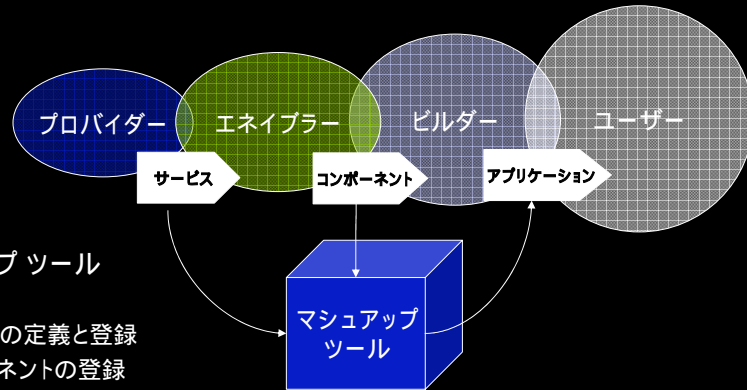
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ プロバイダー               <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラマー (J2EE、.NET、PHP)</li> <li>- サービス (コンテンツ) を提供</li> </ul> </li> <li>▪ エネイブラー               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Web 開発者 (HTML、JavaScript)</li> <li>- コンポーネント (ウィジェット) を作成</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ビルダー               <ul style="list-style-type: none"> <li>- パワー ユーザー、ナレッジ ワーカー</li> <li>- アプリケーション (マッシュアップ) を作成</li> </ul> </li> <li>▪ ユーザー               <ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーションを利用</li> <li>- フィードバック、レーティング</li> </ul> </li> </ul> |
|---|---|

# SOA、SaaS と SA

- SOA
  - SA 構築を可能とするインフラ
  - SA に対する要求が SOA の展開を加速
  - SA での SOAP サービスの利用
    - SOAP クライアントサポート
    - SOAP サービスの REST サービス化
  
- SaaS
  - SA のサポートによる広がり
  - アプリケーションからサービスへ

- Situational Application (SA) の概念と背景
  
- SA プラットフォーム
  
- SA の課題と可能性

## Web 2.0 技術を利用した SA プラットフォーム



### ■ マッシュアップ ツール

- サービスの定義と登録
- コンポーネントの登録
- アプリケーションの作成
- フィードバック、レーティング

## 代表的なマッシュアップ ツール

- Yahoo!® Pipes™
  - <http://pipes.yahoo.com/pipes/>
- Microsoft® Popfly™
  - <http://www.microsoft.com/japan/msdn/vstudio/popfly/>
- IBM Mashup Starter Kit
  - <http://www.alphaworks.ibm.com/tech/ibmmsk/>
- PatchService プロジェクト (IPA 未踏ソフトウェア創造事業)
  - <https://dev.patchservice.net/>

- Situational Application (SA) の概念と背景
- SA プラットフォーム
- SA の課題と可能性

## SA プラットフォームの課題

- 共通コンポーネント、サービス定義
  - 異なるツールキット、サービス仕様間の相互運用
  - OpenAjax Alliance Widget Metadata Strawman Proposal
    - [http://www.openajax.org/member/wiki/IDE\\_Widget\\_Metadata\\_Strawman\\_Proposal](http://www.openajax.org/member/wiki/IDE_Widget_Metadata_Strawman_Proposal)
  - WSDL2
- 開発ロールに対応したツール
  - ブラウザー ベース ツール、IDE
  - シームレスな連携

## SA のガバナンス

- 可用性、モニタリング
  - 利用する外部サービスの変更、停止への対応
  - サービス利用の管理、監視、課金
- セキュリティ
  - 悪意のある外部サービスから企業内リソースを保護
  - 企業内リソースへのアクセス権限
- 品質、サポート
  - 様々な組み合わせにおけるサービスの品質の実現、維持

## SA の可能性

- ユーザーのアイデア、発想を引き出す
  - 現実、現在のニーズに基づく機能の実現
- IT とユーザーのギャップを埋める
  - ユーザーの参加による関係、役割分担の変化
- IT リソースの効果的な投資
  - TCO 削減とコア コンピテンシーへのフォーカス



ありがとうございました